

協働事業に関する提案書

平成 29年 4月 7日

(宛先)狭山市長

団体名 狭山ふるさと会

所在地

代表者名 島田 公江

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	<input type="radio"/> 市民提案型協働事業・ <input type="radio"/> 行政提案型協働事業
2 事業名	狭山ふるさと醸成事業
3 事業期間	平成29年 6月 1日 から 平成30年 2月28日
4 事業種別	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	404,000 円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	狭山ふるさと醸成事業は3年度目を迎えました。 ①狭山ふるさとOXクイズの実施 ②狭山ふるさとミニガイドブック3(解説書)の作成 ③狭山ふるさとガイドブックの作成(最重要事業) 中長期的目標は狭山ふるさと検定の創設です。
7 添付書類	<input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 狭山ふるさと会

1 事業名	狭山ふるさと醸成事業
2 事業の詳細	<p>人口減少の傾向を止めるには、子どもや若者達が狭山をふるさとと想う気持ちを醸成することが重要であるとの発想から企画しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「狭山ふるさとミニガイドブック(解説書)3」の作成</li> <li>・「狭山ふるさとOXクイズ」の実施</li> </ul> <p>上記2点は、昨年度の方法を改善します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山ふるさとガイドブック作成</li> </ul> <p>将来的には、狭山を知る講座などの教材や狭山ふるさと検定の参考書となります。</p>
3 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的作業は狭山ふるさと会の会員が実施します。</li> <li>・狭山ふるさとガイドブックの作成は、さやま市民大学受講生とガイドブック研究会を組織して実施しています。</li> </ul>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本「さやま」を素材にミニガイドブック3の作成</li> <li>・OXクイズスタッフ(司会、安全担当、など)を担当</li> <li>・ガイドブックの作成</li> </ul>
	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場や関連設備の無償提供。</li> <li>・参加者募集など広報活動の支援。</li> <li>・ガイドブック作成のための資料・情報の提供。</li> <li>・将来的に、狭山ふるさと検定創設に向けた支援。</li> </ul>
5 協働の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会の認知度や信頼性が高まることを期待しています。狭山ふるさと検定には強力なスポンサーが必要です。強靱な組織化に向けた働きかけのために。</li> </ul>
6 事業のアピールポイント	<p>狭山市でも人口減少、少子高齢化が課題であり、解決策として子供達や親世代が狭山をふるさとと想い、郷土に愛着を持って生活拠点としたいという気持ちを醸成することが肝要と考えています。</p> <p>三段跳びのホップが「狭山ふるさとOXクイズ」です。ステップ「狭山ふるさとガイドブック」、ジャンプ「狭山ふるさと検定」へと発展させたいと考えています。</p>